人類の出現と文明

名前

問1　古代のエジプトにおいて、太陽暦の作成や測量技術が発達した理由として、最も適当なものはどれですか。（2026年 徳島県公立入試 類似）

1. 乾燥した砂漠地帯で水を確保するために、地下水路を建設する必要があったから。
2. 他地域との貿易を盛んに行うため、船の航海に必要な星の動きを観察したから。
3. ナイル川が定期的に増水するため、農作業の時期や土地の再測定が必要だったから。
4. 広大な領土を統一するために、王の権力を示す大型の建築物を建てる必要があったから。

問2　中国の遺跡から出土した、白く平らな骨の表面に、直線で構成された細かな記号が多数刻まれている資料があります。この資料が作成された背景や特徴について述べた文として、正しいものはどれか次の中から選びなさい。（2020年 新潟県公立入試 類似）

1. 漢の時代に、シルクロードを通じて伝わった西方文明の文字を模写した。
2. 殷の王が国を治める際、神の意思を問う占いの内容を記録するために刻んだ。
3. 秦の始皇帝が、全国で異なる文字が使われないよう、竹簡に統一した文字を記した。
4. 周の時代に、役人が広大な領土を管理するための法律を粘土板に刻んだ。

問3　日本列島において、人々がナウマンゾウなどの大型動物を狩り、植物の採集を行って生活していた、土器が使用される前の時代に、主に使われていた石器の名称として適切なものを選びなさい。（2017年 群馬県公立入試 類似）

1. 骨角器
2. 打製石器
3. 磨製石器
4. 金属器

問4　古代メソポタミア文明において、川のほとりで得られる粘土を板状にし、そこに葦（あし）などの茎の先を押し当てて刻まれた、独特の形状を持つ文字を何といいますか。（2024年 奈良県公立入試 類似）

1. 甲骨文字
2. アルファベット
3. 象形文字
4. 楔形文字

問5　古代文明が共通して大河の流域で発達した理由と、その社会の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2025年 山梨県公立入試 類似）

1. 赤道周辺の熱帯地域において、自然の産物を利用した狩猟採集を行い、すべての住民が平等に暮らすための巨大な宮殿を建設した。
2. 山岳地帯の厳しい自然環境に適応するため、牧畜を中心とした生活を送り、文字を持たずに口伝のみで法律や歴史を伝承した。
3. 大河の氾濫を防ぐための治水や灌漑によって農業生産力が高まり、王などの支配者が現れて神殿を築き、記録のために文字を使用した。
4. すべての文明において碁盤の目状の計画的な都市が建設され、海岸沿いの交易によって得た富を使い、市民による民主的な議事堂を建設した。

問6　紀元前2500年頃からインド北西部の河川流域で栄え、モヘンジョ・ダロに代表されるような、道路が碁盤の目のように整備され上下水道を備えた計画的な都市を築いた文明を何といいますか。（2024年 滋賀県公立入試 類似）

1. メソポタミア文明
2. 中国文明
3. インダス文明
4. エジプト文明

問7　インダス文明の代表的な遺跡であるモヘンジョ・ダロの構造から読み取れる、この文明の社会的な特徴として、最も適切な説明はどれか。（2016年 愛知県公立入試 類似）

1. 都市の中心にジッグラトと呼ばれる聖塔を築き、神官が政治を行う神権政治を徹底していた
2. 碁盤の目状の道路やレンガ造りの排水溝、公衆浴場などが整備された、計画的な都市運営が行われていた
3. 王の権力を象徴する巨大な墓としてピラミッドが建設され、死後の世界を重視する宗教観を持っていた
4. 周囲を高い城壁で囲んだ都市国家を形成し、外敵の侵入を防ぐことを最優先した軍事的な社会であった

問8　11世紀末から始まった聖地エルサレムの奪還を目指す十字軍の遠征が、その後のヨーロッパ社会に与えた歴史的な影響として、最も適切な説明を選びなさい。（2022年 山口県公立入試 類似）

1. 遠征による戦乱が続いたことで地中海貿易は完全に途絶え、ヨーロッパの都市は経済的に衰退して自給自足の生活に戻った。
2. エルサレムを恒久的に奪還するという当初の目的は達成できなかったが、イスラム世界との接触を通じて東西の文化や経済の交流が活発になった。
3. 聖地の奪還に完全に成功したことで、ローマ教皇の権威が絶頂に達し、イスラム勢力は地中海から完全に駆逐された。
4. イスラム教の教えがヨーロッパ全土に浸透した結果、キリスト教に基づいた中世の封建社会が崩壊し、新しい宗教国家が誕生した。

問9　7世紀にムハンマドが創始したイスラム教が、アラビア半島の枠を超えて北アフリカや中央アジアまで急速に拡大した背景として、宗教上の仕組みから説明できるものはどれか。（2026年 三重県公立入試 類似）

1. 各地の神々をアラーの化身として認め、多神教を取り込んだため。
2. 唯一神アラーのもとでは、すべての信者が平等であると説いたため。
3. 厳しい身分制度を肯定し、支配階級の権限を強化したため。
4. 世俗の権力とは一切関わらず、個人の心の救済のみを追求したため。

問10　日本の歴史における各時代の特徴と資料の記述として、内容が誤っているものはどれですか。（2014年 愛媛県公立入試 類似）

1. 弥生時代には、大陸から金属器が伝わり、銅鐸などの青銅器が主に祭りの道具として用いられた。
2. 旧石器時代には、ナウマンゾウなどを狩るために、石を打ち砕いて作られた打製石器が使用された。
3. 平安時代には、律令国家としての体制を整え、平城京の建設費用をまかなうために和同開珎が鋳造された。
4. 古墳時代には、有力者の墓の周囲に、家や馬、人物などをかたどった素焼きの土器である埴輪が置かれた。

問11　11世紀末、ローマ教皇の呼びかけにより、キリスト教の聖地であるエルサレムをイスラム教勢力から奪還することを目的に組織された軍隊を何といいますか。（2023年 青森県公立入試 類似）

1. ルネサンス
2. 異端審問
3. 宗教改革
4. 十字軍

問12　7世紀初め、アフリカ大陸の北東に位置し、紅海とペルシア湾に挟まれた三角形の半島において、唯一神アッラーを信仰する新しい宗教が成立しました。この宗教を創始した人物を、次の中から選びなさい。（2024年 愛知県公立入試 類似）

1. ムハンマド
2. 釈迦
3. ルイ14世
4. バスコ＝ダ＝ガマ

問13　インド北西部の遺跡から、建物や水路が計画的に配置された都市の跡が発見されている文明について、その文化的な特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。（2024年 滋賀県公立入試 類似）

1. くさび形文字を粘土板に刻み、太陰暦や六十進法が考案された。
2. 象牙や石で作られた印章に文字が刻まれているが、現在も解読されていない。
3. 亀の甲羅や動物の骨に、漢字の原型となる甲骨文字が刻まれた。
4. ナイル川の氾濫を予測するために太陽暦が作られ、象形文字が使用された。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 ナイル川が定期的に増水するため、農作業の時期や土地の再測定が必要だったから。	ナイル川は毎年決まった時期に増水するため、その時期を正確に知るための太陽暦が作られました。また、増水によって農地の境界線が消えてしまうことから、土地を正しく測り直すための測量技術が発達しました。
問2	答え 2 殷の王が国を治める際、神の意思を問う占いの内容を記録するために刻んだ。	殷の時代は神権政治が行われており、戦争や祭祀、農作物の収穫などの重要な事柄はすべて占いによって決められていました。出土した骨に刻まれている直線的な記号は、占いという宗教的な行為を記録するための甲骨文字であり、当時の王権が宗教的な権威に基づいていたことを裏付ける貴重な史料となっています。
問3	答え 2 打製石器	土器が出現する前の旧石器時代には、石を打ち欠いて作った打製石器が使われていました。この時代の後の縄文時代になると、石を磨いて作る磨製石器や、食料を煮炊きするための土器が使用されるようになります。石器の作り方の違いは、旧石器時代と新石器時代（日本では縄文時代以降）を区別する重要な指標です。
問4	答え 4 楔形文字	ティグリス川・ユーフラテス川流域のメソポタミアでは、石材やパピルスが少なかった一方で、質の良い粘土が豊富に得られました。そのため、乾く前の粘土板に尖った道具を押し当てて記録する手法が発達しました。その刻み跡が「くさび」の形に見えることから、この名称で呼ばれています。
問5	答え 3 大河の氾濫を防ぐための治水や灌漑によって農業生産力が高まり、王などの支配者が現れて神殿を築き、記録のために文字を使用した。	大河の周辺では、定期的な氾濫によって運ばれる肥沃な土壌を利用した農耕が可能でしたが、大規模な治水や灌漑を行うには多くの人々を組織化する強力な指導者が必要でした。こうして誕生した国家の王は、自らの権力を示すために神殿や宮殿を建設し、徴税や行政の記録、法律の公布などの必要性から文字を発明して使用しました。
問6	答え 3 インダス文明	インダス川流域で発達したこの文明は、高度な都市計画に基づいた都市遺跡が特徴です。レンガ造りの建物や排水溝などが整えられており、当時の高い測量技術や土木技術の存在がうかがえます。
問7	答え 2 碁盤の目状の道路やレンガ造りの排水溝、公衆浴場などが整備された、計画的な都市運営が行われていた	インダス文明の都市遺跡には、当時の他の文明と比較しても際立って優れた都市計画の跡が見られます。住居跡からはレンガで作られた井戸や排水設備、さらには大規模な浴場などが発見されており、高度な土木技術と公衆衛生に対する意識の高さがうかがえます。このようなインフラの整備は、社会全体が統制された計画的な生活を送っていたことを示唆しています。
問8	答え 2 エルサレムを恒久的に奪還するという当初の目的は達成できなかったが、イスラム世界との接触を通じて東西の文化や経済の交流が活発になった。	十字軍は宗教的な情熱から始まった軍事遠征でしたが、軍事的な成功は一時的なものにとどまり、最終的にエルサレムを維持することはできませんでした。しかし、この遠征によってヨーロッパ人はイスラム世界の高度な科学や学問、文化に触れることとなり、地中海を通じた香辛料などの東西交易が盛んになるなど、後のヨーロッパの発展に大きな影響を与えました。
問9	答え 2 唯一神アラーのもとでは、すべての信者が平等であると説いたため。	イスラム教は唯一神アラーへの絶対的な帰依を求めると同時に、信者間の平等を強く説きました。この教えは、既存の身分制度や部族間の対立に苦しんでいた人々に受け入れられ、イスラム帝国の拡大とともに広範な地域へ普及する要因となりました。
問10	答え 3 平安時代には、律令国家としての体制を整え、平城京の建設費用をまかなうために和同開珎が鋳造された。	和同開珎が鋳造されたのは、平安時代ではなく奈良時代（708年）のことです。当時の政府は、平城京への遷都や建設の費用に充てる目的、そして貨幣を流通させることで国家の権威を示す目的でこれを発行しました。旧石器時代の打製石器、弥生時代の青銅器、古墳時代の埴輪に関する記述は、それぞれの時代の特色を正しく表しています。
問11	答え 4 十字軍	聖地エルサレムの奪還を目的として、11世紀末から約200年にわたって派遣された軍事遠征の名称です。この遠征の結果、ヨーロッパの人々がイスラム世界の高度な文化に触れることとなり、その後の地中海貿易の活発化や、中世ヨーロッパ社会の変容に大きな影響を与えました。
問12	答え 1 ムハンマド	7世紀初めに、アラビア半島のメッカで商人をしていたムハンマドが神の啓示を受けたとして創始したのがイスラム教です。ムハンマドは唯一神アッラーへの帰依を説き、アラビア半島の諸部族を統合する精神的な支柱となりました。
問13	答え 2 象牙や石で作られた印章に文字が刻まれているが、現在も解読されていない。	インダス文明では、独自のインダス文字が使用されていましたが、他の文明の文字との比較研究が進んでいないため、未だに解読されていません。選択肢にある他の特徴は、エジプト、メソポタミア、中国の各文明のものです。